

**製品名: UBE2T ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19529**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	22kDa

**抗原情報**

遺伝子名	UBE2T
別名	UBE2T; HSPC150; PIG50; Ubiquitin-conjugating enzyme E2 T; Cell proliferation-inducing gene 50 protein; Ubiquitin carrier protein T; Ubiquitin-protein ligase T
遺伝子 ID	29089.0
SwissProt ID	Q9NPD8
免疫原	抗血清はヒト UBE2T 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

**背景**

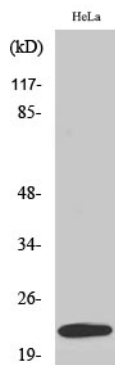
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ユビキチンをタンパク質基質に共有結合させる反応を触媒する。この遺伝子の欠陥

は、相補群Tのファンconi貧血と関連している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq提供、2015年7月]、触媒活性: ATP + ユビキチン + タンパク質リジン = AMP + ニリン酸 + タンパク質N-ユビキチンリジン。機能: ユビキチンを他のタンパク質に共有結合させる反応を触媒する。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。類似性: ユビキチン結合酵素ファミリーに属する。、

## 研究分野

-

## 画像データ



UBE2T ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。